

(西尾市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 25 校、中学校 9 校、義務教育学校 1 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	0 人	
		地域学校協働活動推進員	1 人	
	状況	統括コーディネーター	0 人	
		地域コーディネーター	0 人	
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 1 校	中 0 校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 0 校	中 0 校	



(活動の実際)

一色南部小学校では、平成 30 年度より、空き教室の有効利用し、一色南部小学校空き教室利用活用運営委員会を発足した。空き教室の一室をコミュニティ広場と称し、毎月第 2 金曜日、第 3 木曜日に南小サロンを開催して地域の高齢者の集い場としてきた。校舎内の一室にあるため、児童との交流も盛んに行われ、1 年生生活科の昔遊びの講師をお願いしたり、特別支援学級の学習成果を発表したりする中で、児童の自己肯定感、達成感を高める一助になっていた。

そういった地域との連携をさらに密接なものにするため、令和 4 年度より学校運営協議会の設置を検討し、令和 5 年度より活動が始まった。

学校運営協議会は、奇数月の第 3 金曜日に行われ、主に学校が抱える問題に対して協議を進めている。そして、一南小お助け隊を立ち上げ、令和 6 年度には 20 名の方に登録をいただいている。活動例としては、教職員が管理するには限界のあった学校の南側にある広い学校園の活用がある。令和 6 年度は、サツマイモを育て収穫し、給食で味わうことができた。また、校庭に植えられているアジサイの剪定や運動場の除草作業、年に 2 回の季節の花壇づくりなどを行い、教職員の負担軽減とともに、児童のための環境整備の補助をしている。



(◎成果と●課題)

- ◎学校の抱える問題を積極的に議論できる場、地域の方が学校現場を深く知る機会が増えた。
- ◎地域の方の経験を生かして学校に還元できるようになった。
- ◎活動 2 年目になり、運営や事務に関する 1 年の見通しをもつことができるようになった。
- ◎PTA 活動との連携ができた。
- 積極的に情報発信することで、地域の方とより一層の協働を進めていく。
- 予算を確保し、充実した地域学校協働活動が展開できるようにしていく。

(関係者の声)

- ・南小サロンの方と保護者の方が除草作業、花壇づくりを行ってくれたおかげで、学校がとてもきれいになった。環境整備に協力いただけることは大変ありがたいと思う。(教員)
- ・これまで、学校内で教員が担っていた様々な活動を地域の方々に行っていただくことで、教員の負担軽減につながった。小さい学校であるからこそ、地域の方の協力は大きな力となっている。(教員)
- ・子供たちが安心・安全な学校生活が送れるよう、自分たちの活動が少しでも学校の役に立ったのであればうれしい。何よりも自分自身が子供たちとふれあえるのが楽しい。(地域の方)
- ・地域全体で子供たちを見守ることができていくようになると思う。(地域の方)